

## 前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

主管課長職・氏名	健康推進課長 熊谷多美子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 佐藤勝之、地域包括支援センター所長 佐藤修子

### 1. 基本施策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

#### (1) 基本施策が4年間でめざす姿

第1次滝沢市総合計画において市は「幸福感を育む環境づくり」を目指すこととしています。同計画の幸福感を判断する重要事項についてのアンケートにおいて、最も高かった項目が「心身の健康」という結果でした。市民が幸せを感じながら笑顔で暮らすためには、「心身の健康」は大切な条件の一つであり、また、病気や障がいがあっても、その人の考える健康の実現は、その人らしく豊かな人生を送るために重要な要素です。市民一人一人が健康に関心を持って、生涯を通じて主体的な健康づくりに取り組めるような環境を整備するとともに、個人や家庭だけではなく、自治会等の地域や関係機関、行政が一体となって互いに支え合いながら健康な地域、健康な滝沢市を目指します。

#### (2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	B	
			57	58.4	-	-	-	38.2	
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	D	
			58.2	55.8	-	-	-	△45.7	
	単位								

#### (3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 02060100 望ましい生活習慣の定着 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	B	
			57	58.4	-	-	-	38.2	
2	幸福 02060100 望ましい生活習慣の定着 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	D	
			58.2	55.8	-	-	-	△45.7	
3	暮らし 02060200 みんなで進める健康づくり 健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数 単位 回	87	87	88	89	90	91	A	
			86	174	-	-	-	2,175.0	
4	幸福 02060200 みんなで進める健康づくり 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	D	
			58.2	55.8	-	-	-	△45.7	
5	暮らし 02060300 安心し子どもを産み育てるための支援 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合 単位 %	56.2	59	60	61	62	63	B	
			58.1	59	-	-	-	41.2	



## 前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

主管課長職・氏名	健康推進課長 熊谷多美子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 佐藤勝之、地域包括支援センター所長 佐藤修子

## 2. 基本施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>市民一人一人が「健康」に関心を持って主体的な健康づくりに取り組めるよう、各種検診の実施や健康づくりに関する情報提供を行いました。また、地域で健康づくりに取り組む機会として「地域健康づくり連絡会」を各自治会で開催し、健康情報の提供や具体策について話し合いました。また、健康づくり支援者の養成やスキルアップに努めました。経済的負担軽減のため特定不妊治療の助成を実施し、また難病特定医療費申請を行い、対象者の利便性向上に努めました。妊娠から出産子育ての場面で必要な支援が必要な方に届くよう、家庭訪問や乳幼児健診等を実施し、早期発見と対応に係る取り組みを関係機関と連携し行いました。また、愛着形成に係る子育て心理学を活用し、育児不安や育児困難の予防に取り組みました。「自分が心身ともに元気と感じる人の割合」は、平成27年度57.0%から平成28年度58.4%と1.4%増加しました。</p>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】受診しやすい検診、健康づくりに関わる市民の増員と資質の向上、地域との連携を強化した健康づくりの推進、妊娠出産への支援の充実・乳児全戸訪問事業の継続とフォロー体制強化、育児支援事業の充実</p> <p>【重点課題の達成状況】受診しやすい検診を目指し、新設の検診会場の検証と未受診調査を行いました。また各健康づくり支援者の育成・合同研修会の開催・連携強化により地域の健康づくりを実施出来ました。不妊治療の経済的負担軽減のため、特定不妊治療助成事業を継続しました。乳児訪問や乳幼児健診等を通して乳児や育児の状況等を把握し、早い段階から虐待や発育発達に課題のある児への対応等、育児支援を行いました。</p>	

## 3. 基本施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>【成人】 自家用車での移動などによる運動不足や、食習慣の変化等により生活習慣病が促進されています。超高齢社会を見据え、若年・壮年期からの健康づくりが重要です。また、ストレスフルな社会環境により心を病む方も増加しています。</p> <p>【母子】 未婚や若年妊婦等、課題のある妊婦が増加傾向にあります。また、育児が世代間で伝承されにくく母子の愛着形成が十分でないまま親になり育児が困難になり支援を必要とする事例が増加しています。また、全国的に児童虐待事例が報告されており、今後も乳児訪問・乳幼児健診や予防接種の状況等から、関係機関と連携し早期からの適切な対応が必要です。</p>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>「誰もが幸福を実感できる地域」を目指す本市において、「心身の健康」を市民が幸福を実感するための事項として1番に挙げていることから、一人一人が積極的に健康づくりに取り組めるよう、住民協働による健康な地域づくりや環境づくりを更に推進していく必要があります。平成28年度に、総合計画の実施計画にあたる「第1次滝沢市母子保健計画」及び「第2次滝沢市地域保健計画中間評価及び後期計画」を策定しており、両計画に基づき、今後も施策の推進を行ってまいります。</p>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】 、「第1次滝沢市母子保健計画」及び「第2次滝沢市地域保健計画中間評価及び後期計画」を策定したことから、今後は両計画を推進することにより、基本施策である「笑顔輝く健康づくりへの支援」の実現に向けて取り組んでまいります。特に、検診受診や運動・食生活等の生活習慣の改善等、個々の主体的取組みと、地域ぐるみでの取り組みを更に進めてまいります。また、母子の課題の多様化・複雑化へ対応するため、切れ目ない支援体制を構築していく必要があります。</p> <p>【引継課題】 平成30年度に施策展開として予定されている「健康づくりに関する宣言」まであと1年となり、計画的な準備の推進と共に市民の健康づくりにかかる意識の醸成や組織体制の構築を行い、「地域発信型の宣言」にしてまいります。また、「子育て世代包括支援センター」については、市の実情にあわせた体制構築に向け、関係課と連携し準備を進めます。</p>	

